

大正時代にタイムスリップ!

津山・城西まると博物館フェア2006
10月1日 城西地域一帯

かつて津山の玄関口として栄えた大正時代の城西地域を再現しようと、毎年この時期に行われています。城西楽市では、げたやのこぎりなどの職人が軒を連ねていたことにちなんで全国各地からも手作り職人が集まりました。そのほか屋台村や様々な体験コーナーなども大盛況。ステージでは、子どもから大人まで色とりどりの着物に身を包んだミュージカルや着物コンテストなどが行われ、祭りを盛り上げていました。

市民憲章の精神 未来へ

つやまフェスティバルin市民憲章デー
10月1日 グリーンヒルズ津山

「津山のまちをもっと明るく豊かで、住みよいまちにするためには、どうしたらよいか?」。昭和46年、津山市民が一生懸命考えて作った共通の目標「津山市民憲章」。その制定35周年を記念するイベントが行われました。

親子連れなど約3,000人が集まり、陶芸や「まが玉」などの手作り工房やステージイベント、チェーンソーアートをはじめとする多彩なイベントで楽しい休日をご過ごしました。

備中櫓と満月に ときを忘れて

観月と邦楽の夕べ
10月6日 鶴山公園

邦楽演奏を聴きながら備中櫓越しに満月を望む。そんな雅やかなお月見が行われました。350基の行燈が城跡を幻想的な雰囲気で見守り、三味線やわらべ唄などを上演。またお茶席も設けられ、時折顔を見せる満月を眺めながら人々はいにしえの世界に引き込まれていました。



今月の フラッシュ

身体動かし、 みんな元気!

つやま市民スポーツ祭 10月8日 津山陸上競技場ほか

津山陸上競技場を主会場に、リレーや相撲などの競技を開催。大人から子どもまで約15,000人が参加し、心地良い汗を流していました。ソフトテニス教室に参加した福田香穂さん(鶴山小6年)は「いいボールが打てたり、練習試合で勝てたりしたときはうれしい。今日はほかの小学生とボールを打ち合えて楽しかった」と満足そうな様子。特に今年は車いす競走選手とのふれあい種目が競技に加わったほか、スポーツ鑑体験やフリーマーケットなども行われ、秋晴れに恵まれたイベントにはにぎわいを見せていました。



家族は命の交差点

ひと・ふれあい講演会
9月30日 久米体育館

アニメ「サザエさん」の声でおなじみの加藤みどりさん(声優・俳優)が「家・人・家族」と題して講演を行いました。「人と人とのつながりの大切さ」や「人は必ず誰か(何か)の役に立っている」などについて、みずからの仕事や家族のエピソードを紹介。

集まった約300人は慣れ親しんだ声での話し口調に聞き入っていました。

